

今年の天候はどうにもおかしい。そう思いませんか？寒かったり暑かったりとにかく不順です。筆者は沖縄へ来て4年が過ぎました。毎年4月ともなれば朝の強い日差しで目覚め、今日もやるぞと活力がみなぎります。もっとも好きな季節ですが、今年は特に曇りの日が多いように感じます。戦後初めての大きな政権交代が昨年おこり、民主党が国民の期待を集めました。お天気のように雲行きが怪しくなってきました。今月号の最も大きな話題は第122回日本医師会定例代議員会報告です。ご存じのように民主党とのパイプを持つ原中勝征氏が会長に当選されました。一方、副会長には原中氏の推薦をうけていない候補者が当選されています。このあたりの事情や新会長の原中氏の決意が詳しく書かれており、是非ご一読ください。政権にどの政党がついたとしても、よい医療を行うための提言をわたしたち医師会が行ってゆかなければ最後には国民が最も不利益を被ることになります。先行きが読めない時代であります。またそういう時代だからこそ積極的な活動をお願いしたいと思います。沖縄からは宮城信雄先生が理事に選ばれました。沖縄県医師会として大変喜ばしいことであり今後のご活躍を祈念いたします。

表紙は村田先生の大濠公園の写真です。よく手入れされた公園で私も好きな場所の一つです。退任の挨拶は幸地先生と野原先生からいただきました。野原先生とは広報委員会で一緒にさせていただき、筋が通ったお考えにいつも敬服しておりました。今後も忌憚のないご意見をいただけたらと思います。特別報告は、大きな社会問題となった新型インフルエンザ感染例の剖検報告です。今振り返るとあの騒動は何だったのかと思いますが、報告を読むと死亡時にはウイルスはほぼ消失しており治療効果もみられ

るようです。

生涯教育は戸板先生の“子宮頸癌の放射線治療”です。放射線治療に化学療法を組み合わせること（CCRT）により手術と同等、進行例ではそれ以上の治療効果をあげられるようです。副作用を軽減するために腔内照射と外照射を組み合せ、成果をあげておられます。沖縄県ではHPV感染が多いためか子宮頸癌が全国よりも多い傾向があります。会員の先生方にもご一読いただき知識をアップデートしていただきたいと思います。私が担当している頭頸部癌は頸癌と似ており、放射線感受性が高い腫瘍です。沖縄県の患者さんはCCRTで治る方が他地域より多いような印象を持っており興味深く拝読しました。

インタビューコーナーは沖縄県薬剤師会会長の神村武之先生です。先生は3期目ということですが、新会館を建設され付属施設として薬剤情報センター、夜間・休日の会営薬局、試験検査センターなどを配備し、地域医療に積極的な活動をされています。また薬学教育は6年となり制度改革が進んでいるようです。本の紹介は玉井先生の“脳を知りたい！”です。私は沖縄へ来るまでは、耳鼻咽喉科領域の疾患や術前後の患者さんの脳機能研究を長年おこなってきました。ゲノムが解析された21世紀は脳の時代です。医療関係でない方が記した本ということでより興味を持ちました。次の出張の時に読みたいと思います。

さて、5月末には普天間問題のタイムリミットがきます。梅雨空を吹き飛ばすような解決を見せて欲しいものです。編集後記までお読みいただきありがとうございました。

広報委員 鈴木 幹男